

終了時評価調査結果要約表

1. 案件の概要		
国名：パキスタン・イスラム共和国		案件名：オルタナティブ教育推進プロジェクト
分野：教育		援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部基礎教育第一チーム		協力金額：5億200万円
協力期間	2015年9月～2019年10月 (ただし、2020年3月までの 協力期間延長が決定している ¹ (4年7か月))	先方関係機関：連邦教育・研修省 (Ministry of Federal Education and Professional Training : MFEPT)、パンジャブ州識字・ノンフォーマル基礎教育局 (Literacy and Non-Formal Basic Education Department, Punjab : LNFBED/以下、「パンジャブ州識字・教育局」と略す)、シンド州学校教育・識字局 (School Education and Literacy Department, Sindh : SELD)、バロチスタン州社会福祉・特別教育・識字ノンフォーマル教育・人権局 (Social Welfare, Special Education, Non-Formal, Literacy and Human Rights Department, Balochistan : SWD)
		日本側協力機関：なし
1-1 協力の背景と概要		
<p>パキスタン・イスラム共和国 (以下、「パキスタン」と記す) の識字率 (10歳以上) は58%にとどまり、女性は44%と更に低くジェンダー格差が存在する²。さらに、不就学児童数 (5歳から16歳) は世界で2番目に多く、2,280万人に上る³。パキスタンにおける教育普及の阻害要因としては、学校と家の距離といった地理的要因、家庭の生計や価値観といった家庭的要因、学校教育内容や教員の資質といった教育的要因が挙げられる。特に前者の2要因は、通常の学校教育からのアプローチのみで改善を図るのは極めて難しいのが現状である。ノンフォーマル教育 (Non-Formal Education : NFE) は、学校の設置に関する地域的制約等についての自由度が高く、かつ学習者にとって経済的負担の軽い教育システムであることから、特に上記のような地理的・家庭的阻害要因に対応する観点からは有効であると考えられる。</p> <p>連邦教育・研修省が2013年に策定した「国家教育行動計画2013～2016」においては、通常の公教育 (学校教育) のみならず、NFEの拡大計画についても言及されている。また、パンジャブ州、シンド州、バロチスタン州にて策定されている州教育計画 (それぞれ2013年、2014年、2015年策定) には、NFEの質改善と普及を重要課題として位置づけている。</p> <p>独立行政法人国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency : JICA) は1997年よりNFE分野において支援を継続してきており、2004年からはパンジャブ州を対象にした技術協力プロジェクト</p>		

1 延長に関する討議議事録 (Record of Discussions : R/D) 変更のための協議議事録 (Minutes of Meeting : M/M) は、終了時評価のM/Mと合わせて署名された。

2 UNESCO 2018。R/D 文書は成人識字率 (10歳以上) 60%を引用している [Pakistan Social and Living Standards Measurement Survey、パキスタン統計局 (Pakistan Bureau of Statistics : PBS) 2014-2015]

3 パキスタン教育統計年鑑 (2016～2017)

クト (PLPP1、PLPP2、NFEPP)⁴を実施している。これまでに、NFEに関するデータに基づくマネジメントシステムの構築や、スタンダード、カリキュラムや教材といった教育の質を改善するためのツール開発を支援してきた。こうした流れを汲み、本プロジェクトは対象地域を広げ、パキスタンの連邦政府及び同所管地域、バロチスタン州、パンジャブ州⁵及びシンド州において、NFEシステムの強化を図り、もってNFEの質とアクセスの改善に寄与するものである。

1-2 協力内容

(1) 上位目標

連邦政府所管地域、バロチスタン州、パンジャブ州及びシンド州（以下、対象地域）において、ノンフォーマル教育のアクセスと質が改善する。

(2) プロジェクト目標

対象地域にてノンフォーマル教育システムが強化される。

(3) 成果

- 1) 対象地域において、ノンフォーマル教育を推進する基盤（政策・実施体制等）が強化される。
- 2) 対象地域において、データに基づくノンフォーマル教育のマネジメントシステムが導入される。
- 3) 対象地域において、各相手側実施機関による質の高いノンフォーマル教育の提供体制が整備される。

(4) 投入（評価時点）

《日本側》

長期専門家：2名

- ① チーフアドバイザー/ノンフォーマル教育：47人月（2015年9月～）
- ② 業務調整/ノンフォーマル教育：29人月（2017年3月～）

ローカル専門家：15名

（参照：付属資料1. 終了時評価報告協議記録 ANNEX8 「List of AQAL Expert」）

本邦及び第三国視察・研修：2回

- ① 期間：2017年1月20日～2月4日 場所：日本及びタイ
- ② 期間：2019年3月10日～16日 場所：インドネシア

調達機材：289万7,047パキスタンルピー（約229万円）

現地活動費：3億2,570万3,699パキスタンルピー（約2億5,800万円）

4 パンジャブ州識字行政改善プロジェクト [(Punjab Literacy Promotion Project Phase1: PLPP1)、2004～2007]、同プロジェクトフェーズ2 [(Punjab Literacy Promotion Project Phase 2: PLPP2)、2007～2011]、ノンフォーマル教育推進プロジェクト [(Non-Formal Education Promotion Project: NFEPP)、2011～2015]

5 パンジャブ州識字・教育局次官との協議の結果、本終了時評価対象に同州を含めないことで合意した。経緯について、評価報告書「3-3. 評価調査の制約・限界」に詳述する。

《パキスタン側》

カウンターパート (Counterpart : C/P) 配置 : 主要 8 名、他パートナー機関職員

(参照:付属資料 1. 終了時評価報告協議記録 ANNEX5「List of Counterpart&Major Partners」)

土地・施設利用 : 専門家執務スペース (イスラマバード、カラチ、クエッタ)

ローカルコスト負担 : ノンフォーマル初等教育学校及び成人識字センターの開設・運営費及び、その他プロジェクト実施に必要な経費

2. 評価調査団の概要

調査者	担当分野	氏名	所属
	団長	森下 拓道	JICA 人間開発部基礎教育グループ
	副団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員 (教育)
	協力企画	森田 実希	JICA 人間開発部基礎教育グループ
	評価分析	斉藤 弘子	株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング
調査期間	2019年7月7日～8月2日		評価種類 : 終了時評価

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果

成果 1 : 対象地域において、ノンフォーマル教育を推進する基盤 (政策・実施体制等) が強化される。

成果 1 は達成されている。

- 対象 3 地域 (連邦政府/連邦政府所管地域、シンド州、バロチンスタン州) において、NFE 推進のための実施基盤となる関係機関 (政府関連機関、市民組織、援助機関、学術機関) を含めた NFE フォーラムやワーキンググループ等が設置された。また、プロジェクト開始以来、NFE がハイレベル教育定期会合である「州教育大臣間連携会合 (Inter-Provincial Education Minister's Conference : IPEMC)」や各地域における教育グループ会議 (Local Education Groups : LEGs) において常設の議題として取り上げられるようになった。
- 同フォーラムやワーキンググループを通じて関係機関が方向性を共有したうえで、彼らの積極的な参加のもと NFE 政策が策定された。また、政策に沿った NFE 政策行動計画、予算計画が立案され、これらは承認されている。さらに NFE 学習パッケージ⁶ (スタンダード、カリキュラム、教材、アセスメントシステム等) やモニタリングシステムも開発、承認されるなど、政策を具体化する取り組みが進められた。
- 対象 3 地域の C/P 機関は NFE 政策や政策実施枠組み、予算計画など、計 17 件の公式な通達を發出しており、NFE 政策の実施を確実なものにしていることから、NFE 推進基盤の強化につながっていると判断される。(指標 1-2)
- プロジェクトによると、NFE 関係機関 (援助機関や市民組織など) の計 51 機関が NFE 政策を支持し、関連資料において NFE 政策を引用している。インタビューによると、関係者は NFE 政

⁶ NFE 学習パッケージとは、プロジェクトの開発する良質の NFE 提供のために必要なスタンダード、カリキュラム、教材、アセスメントシステム、教員マネジメント・フレームワークをまとめて示すもの。プロジェクトでは NFE のうち特にノンフォーマル初等教育 (脚注 9 参照)、成人識字の学習パッケージ開発を行っている。

策により関係機関との協力が促進され、活動が円滑になったと政策を肯定的に捉えている。(指標 1-1)

- ・ NFE 政策とその具体的な政策行動計画等の策定が進められるなかで、対象 2 州（シンド州、バロチスタン州）の C/P 機関である SELD 及び SWD は、政策実現に向け組織体制強化を図り、予算も増加（開始当初と比べ、シンド州では 3 倍、バロチスタン州では 8.5 倍）させている。また、大幅な人員増加もみられ、活動開始当初と比べ、シンド州では 1.5 倍、バロチスタン州では 4 倍の増加となっており、NFE 政策実施体制の強化を着実に進めている。

成果 2：対象地域において、データに基づくノンフォーマル教育のマネジメントシステムが導入される。

成果 2 はプロジェクト終了時⁷までに達成見込みである。

- ・ 本プロジェクトでは、ノンフォーマル教育マネジメント情報システム（Non-Formal Education Management Information System：NFEMIS）普及の中核となる教育計画・運営協会（Academy of Education Planning and Management：AEPAM）と協力し、NFEMIS の開発・更新・普及を行っている。同システムは対象 3 地域に導入されている。シンド・バロチスタン州では、NFEMIS を基盤とした NFE のモニタリングと評価の枠組みが政府から正式に発出されている。
- ・ NFEMIS の運用体制としても、C/P 機関ないし関係機関内に「NFEMIS 室（Cell）」が設置され、実施に必要な機材、人員がおおむね配置されている。
- ・ 評価時点で 61 の NFE 提供機関が NFEMIS の研修を受け、システムを利用し始めており、これまでに全国にある約 3 万の NFE センターのうち約半数（1 万 5,000 センター）⁸の基本データが登録されている。こうした状況から、データを活用する環境が整った段階にあるといえる。さらに、NFEMIS 報告書をもとに取られた行動について、2019 年 7 月までに対象 3 地域で合計 13 件が報告されている。(指標 2-1)
- ・ プロジェクトは、2017 年 12 月に NFEMIS をデスクトップ版から Web 版に切り替え、データベース上の情報を直接更新できる仕組みを構築した。Web 版に加え、モバイル版アプリケーションの開発も進んでいる。
- ・ NFEMIS ユーザーは、学習者個人の情報が入力されているため、個人の学習到達度や出席状況が確認でき、対応策の検討が容易になったと、その利便性を評価している。
- ・ NFEMIS 普及・活用の中核となる AEPAM が、これを利用して得られる NFE に係る統計データをパキスタン教育統計年鑑に活用するなど、NFEMIS は国の情報データ管理を支援するツールとしての有効性も認められる。
- ・ NFEMIS と全国の学校教育に関する統計情報を管理する国家教育マネジメント情報システム（National Education Management Information System：NEMIS）の統合については、関係者で協議を進めている。連邦のみならず、シンド州においても同様に、州レベルの NFEMIS とシンド教育情報システム（Educational Management Information System：EMIS）の統合に関して進展をみせている。
- ・ データに基づいた NFE 運営管理のガイドラインは 2019 年 12 月ごろの完成が見込まれ、プロジ

⁷ 協力期間延長後のプロジェクト期間（2020 年 3 月）

⁸ パキスタン教育統計年鑑（Pakistan Education Statistics 2016～2017）

ェクト終了までに州及び県レベルにおいて、データに基づいた NFE 運営管理の実施者向け研修が予定されている。

成果 3：対象地域において、各相手側実施機関による質の高いノンフォーマル教育の提供体制が整備される。

成果 3 はプロジェクト終了時まで達成見込みである。

- ・プロジェクトは、対象 3 地域において、質の高いノンフォーマル初等教育⁹（Non-Formal Basic Education：NFBE）の核となる NFBE 学習パッケージ¹⁰を開発し、これらは各州において承認された。現在、学習環境スタンダード、アセスメントについては一部開発中であるが、プロジェクト終了時まで完了する見込みである。
- ・NFBE 学習パッケージ開発に関し、プロジェクトは、学齢期を過ぎた児童や若者向けの速習法（Accelerated Learning：AL）アプローチ（学校教育より短期に同等の学習到達度を担保するアプローチ）を採用している。また、プロジェクトは学校教育との同等性を重視し、NFBE カリキュラムにおいて、シンド州、バロチスタン州で学校教育のカリキュラムとの同等性を確保し、州政府による承認を受けている。この結果、両州ともに NFBE の修了者は、州の教育局直轄のアセスメント機関の試験に合格すれば普通小学校卒業と同等の資格を得ることができる。
- ・連邦政府では連邦教育・研修省直属の National Curriculum Council と共同でカリキュラムを開発した。これは初等教育と同等の「Accelerated Learning Program Curriculum」として、連邦教育・研修省から 2017 年に承認されており、連邦直轄地及び連邦政府機関の国家人材育成委員会（National Commission for Human Development：NCHD）等により全国で利用可能である。
- ・さらに、アラマ・イクバル放送大学はプロジェクトと協働し、パキスタン全国で利用可能な NFBE 学習パッケージ（A、B、C）を開発した。独自の NFE カリキュラム・教材開発機能をもたない地域や NFE 提供機関による利用が期待される。
- ・教員研修については、プロジェクトは、連邦においてはアラマ・イクバル放送大学、連邦教育部及び NCHD と、シンド州及びバロチスタン州では各州の州教員教育機構とそれぞれ協働し、教員養成のためのマスタートレーナー研修を実施し、NFE 教員養成制度を構築してきた。
- ・シンド州では教員マネジメント・フレームワークが承認され、バロチスタン州では同フレームワークの承認待ちの段階にある。対象 3 地域において養成したマスタートレーナーによる教員研修の実施も進んでおり、教員の指導能力強化に向けた基本的な体制を構築しつつある。
- ・アガハーン大学教育開発研究所の調査結果によると、学校教育の教科書を使用する従来型の NFE 初等教育学校に比較して、AL アプローチを採用した学習パッケージを使用する介入校において、教員の指導能力、学習環境、児童の学習到達度の改善¹¹がみられた。（指標 3-1）
- ・また、介入校の教員や親へのインタビューによると、「規律の順守」「他者への敬意」「協調性」という児童の社会性において、正の行動変容がみられた。

9 NFBE：Non-Formal Basic Education は、「ノンフォーマル基礎教育」と訳出できるが、パキスタンにおいては、NFBE は初等教育段階を指すものであることから、本報告書では NFBE をノンフォーマル初等教育と呼称する。ただし、C/P 機関名などの固有名称についてはその限りではない。

10 プロジェクトでは、ノンフォーマル初等教育の学習パッケージを開発した。学習パッケージは、A、B、C の 3 段階が開発され、パッケージ C を修了すれば初等教育修了と同等の学習到達度を保証できる構成となっている。

11 70%以上の学習到達をした児童数について、介入校においてベースライン時は対象児童の 2.6%であったがエンドライン時に 53.9%へ上昇した。一方で、非介入校では 1.0%が 21%へ上昇するにとどまった。

- ・成人識字については、基礎識字、ライフスキル、収入向上の3要素を含んだカリキュラムをシンド州・バロチスタン州で作成し、それを基に教材を作成している。バロチスタン州では、成人識字カリキュラム、教材が共に正式に承認され、SWD が運営する成人識字センターで活用されている。シンド州では、カリキュラム・教材とも開発が完了し、政府の承認を待つ状況にある。
- ・さらに、他分野の機関とも協力し、特に就労・生計向上を念頭に職業別の成人識字教材（畜産、農業、塗装工）も作成した。バロチスタン州では、公的機関であるプライマリヘルスケア・イニシアティブ（People's Primary Healthcare Initiative : PPHI）と SWD が連携し、保健と識字を組み合わせたプログラムを開発、2019年7月から3カ所の基礎保健ユニット（Basic Health Unit : BHU）においてパイロット実施を開始した。
- ・プロジェクトで開発した学習パッケージを利用するノンフォーマル初等教育学校及び成人識字センター数は調査時において1,155校となっている。プロジェクト開始時の0校と比較すると、対象3地域で良質なNFEを提供できる実績を備えるに至っており、相応の体制整備が進展したと判断される。（指標3-2）

(2) プロジェクト目標

対象地域にてノンフォーマル教育システムが強化される。

プロジェクト目標：達成する見込みは非常に高い。

- ・成果1~3はプロジェクト期間中に達成される見込みである。本プロジェクトでは成果1~3を通じて、NFEを推進させるための基盤の構築、NFEMISの導入と機能化、学習パッケージの開発と実施、C/P及び教員の能力強化が図られている。したがって、プロジェクト目標の達成見込みは高いと判断される。
- ・評価調査時点で34機関、1,155校が、プロジェクトが開発した学習パッケージを導入しており、これは対象3地域にあるNFBE校数¹²の14%にあたる。プロジェクト開始時は0校であったことに鑑みると、NFE提供体制の基盤が整ってきていると考えられる。（指標1）
- ・連邦政府レベルでは、IPEMCにおいて、専門家チームによる積極的な働きかけにより、プロジェクト開始までは一度も取り上げられていなかったNFEが、2017年2月から常設の議題として取り入れられ、その後に開催された4回の会合においてNFEについて協議された。各州の意思決定者が集う会合において、NFEが常設の議題の一つとなったことは、プロジェクトの対象地域だけでなく他州でのNFEに対する認識向上や、州間の学び合い、各州の自発的活動の促進にもつながるため重要である。（指標2）
- ・さらに、対象3地域でNFEフォーラムが開催されるなど、NFEに関する行政機関が一堂に会す機会が設けられており、実務レベルでもNFE推進機能が強化されている。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：非常に「高い」

- ・パキстанは、世界で2番目に不就学児童（5~16歳）が多く、学齢期を過ぎた児童に対する基礎教育の機会提供が限定的であり、その改善が喫緊の課題である。
- ・こうした課題に向け、パキスタン政府は政府開発政策（Vision 2025）の識字目標や教育政策

12 パキスタン教育統計年鑑（2016~2017）に記載されているNFBE実施校数。

(Education 2030) において、生涯学習アプローチによる教育アクセスの拡充や質と学習効果の向上に向けた取り組みを掲げており、本プロジェクトはこれら方針と合致している。また、対象州における教育セクター計画にも NFE の推進が掲げられており、これらの戦略や方向性と整合している。

- NFE 推進を担う C/P 機関にとっては、NFE に関する知見や、関係機関とのネットワークの不十分さなどから、政策・方針の策定やその実施が困難な状況にあった。
- 日本政府の対パキスタン国別開発協力方針（2018）で定められている重点分野「人間の安全保障の確保と社会基盤の改善」の下、質の高い教育へのアクセスが優先課題とされている。また、本プロジェクトは事業展開計画（2018）における個別重要課題「女子教育・ノンフォーマル教育を通じた教育アクセスと質の改善」に位置づけられている。
- JICA は教育協力ポジションペーパー（2015）や持続可能な開発目標（SDGs）の目標 4 の達成に向けた JICA の取り組み方針（2016）で、不就学児童や非識字者に対する教育課題の残る南アジア地域の識字教育、ライフスキル、オルタナティブ教育プログラムなどの NFE 支援を通じ、不就学児童や非識字者などの教育課題解決に貢献することを明示している。
- 実施方法及びアプローチは適切であったと判断される。成果 1～3 は、NFE 推進のために必要な側面－NFE 推進基盤の構築（政策と実施体制等）、データに基づく NFE 管理・運用体制、NFE 学習パッケージの開発と教員育成－を網羅し、成果が相互補強する関係性を考慮して構築されている。

(2) 有効性：非常に「高い（見込み）」

- プロジェクト目標はプロジェクト終了までに達成される見込みである。プロジェクトは、NFE 推進のための行政機能が脆弱な環境下で、さまざまな関係機関を巻き込み、着実に成果の達成に向けて活動を進展させている。
- 本プロジェクトでは成果 1～3 を通じて、NFE を推進するための基盤の構築、NFEMIS の導入と機能化、良質の NFE 提供のための体制整備及び NFE 提供機関の能力強化が図られている。これらの成果は確実にプロジェクト目標である NFE システムの強化に貢献している。
- さらに、これまで学校教育との同等性が認められておらず、その有用性への認知度が低かった NFE に対する認識を一転させ、各州での NFE への取り組みを本格化させており、その意義は大きい。

(3) 効率性：「高い」

- 活動は財政面でも人的投入でも効率的に実施された。プロジェクトの専門家チーム（日本人、パキスタン人）は NFE 分野の専門性が高く、C/P が必要としていた技術的な助言や支援が可能であった。
- ローカル専門家の投入量は当初計画よりも増えてはいるものの、予算内に収まっている。また、彼らの有する現地事情に関する知見や人脈を活用でき、言葉の壁もないため C/P や関係者との信頼関係構築や調整において活動の効率性を高めた。
- 先行プロジェクトにて開発されたカリキュラム、教材等のパッケージを基礎資料として有効活用した。また、JICA 他案件の教材や他のセクター（保健、農業など）の研修教材を活用し

た成人識字教材の開発も行った。既存リソースを活用できたことは、一から教材を開発する場合に比較して、大幅にコスト、時間と人員の投入を抑えることができたことと推察される。

- ・コミュニティの主体的な協力を得て NFE を展開したことで、NFE 行政官による訪問が困難な地域での生徒のドロップアウト防止や学校へのモニタリング実施等、活動の効率化が可能となった。プロジェクトでは、コミュニティモビライゼーションの手引書を作成し、NFE 活動におけるコミュニティの役割や関わり方を明らかにした。こうした取り組みの結果、シンド州とバロチスタン州では、同手引書に基づく手法を正式に承認している。
- ・政権交代による連邦政府の活動の停滞や組織改編に伴い、組織改編後の NFE 実施体制の担保や、一時的に中断していた活動を推進するため、本プロジェクトの 2020 年 3 月までの延長が決定した。本延長は本プロジェクトの効率に起因するものではない。
- ・本プロジェクトは連邦制を採るパキスタンにおいて複数州をまたいで実施された。州ごとに進捗やアプローチが異なる側面があるものの、州間で情報・知見共有を促進しながら行うことにより、限られた予算・時間・人材を効率的に活用することが可能となった。

(4) インパクト：非常に「高い」

- ・上位目標達成の可能性は高く、数多くのインパクトが発生していることから、インパクトは非常に高いといえる。
- ・上位目標指標 1：評価時点において、プロジェクトの開発した学習パッケージを利用する NFE センターは 1,155 校ある。NFE 提供機関は政府組織、NGO、開発機関などがあり、民間組織からの関心も高まっている。
- ・上位目標指標 2：評価時点では、パイロット・介入校で NFBE 学習パッケージ C を実施しており、2019 年 10 月頃に初の NFBE 修了生が出る予定である。成人識字については、これまでにバロチスタン州で学習パッケージを利用したコースが実施され、1,431 名が修了した。
- ・NFE 政策策定の過程から参加してきた援助機関や市民社会組織（Civil Society Organizations : CSO）は徐々に NFE に対する関心を高めており、すでに C/P 機関と連携に向けた覚書の交換は増加傾向にある。さらに、全国教育開発パートナーグループ（National Education Development Partners Group : NEDPG）下に NFE サブグループが設置されており、NFE 拡大を可能にする環境が整ってきている。これらに鑑み、教育のためのグローバルパートナーシップ（Global Partnership for Education : GPE）や世界銀行などの人的資本の強化に向けた新しい取組等から支援を得られる可能性が高まっているといえる。
- ・シンド州では 2019 年以降、官民連携の枠組みを利用して 2,000 教室の NFBE 及び 3,000 教室の成人識字教育を開始する計画を起案し、予算を獲得している（6 億パキスタンルピー）。
- ・対象州以外でも、ハイバル・パフトウンハー（Khyber Pakhtunkhwa : KP）州の初等・中等教育局の下に NFE ユニットの設置が検討され、NFE 実施体制が整いつつある。KP 州では日本の国際機関連携無償（UNICEF へ拠出）、及びプロジェクトのローカル専門家の技術支援により、NFE 政策の策定やカリキュラムの開発が進められており、今後他州への広がりを見せる好事例となっている。
- ・プロジェクトの進捗とともに、NFBE 修了後の学習機会に対する要望が高まっている。対象州において、すでに NFE の前期中等教育レベルのパッケージ開発が始まっており、初等学校

に比べて中等学校数が圧倒的に不足しているパキスタンにおいて、非常に価値の高い波及効果といえる。

- ・他セクターとの協力も活発である。農業、保健、畜産分野行政機関や民間企業（塗装工育成）と協力し、技術的な研修内容と識字を組み合わせたプログラム開発など、相乗効果を図った。機能や実用性を重視した識字教育普及の可能性を広げている。
- ・本プロジェクトは、こうした取り組みを通じ教育の枠を超えて、SDGs に掲げられるその他の目標（1：貧困、3：保健、5：ジェンダー、8：経済成長と雇用など）にも貢献するものである。

(5) 持続性：「高い（見込み）」

- ・（政策・制度面）妥当性に記載の条項に変化はなく、2018年にはパキスタン国内各地で不就業児童の就学キャンペーンを実施するなど、政府の不就業児童課題解決に向けたコミットメントは高い。各州の C/P 機関は NFE へのアクセスと質の改善をめざす政策を発出し、主要な NFE 提供機関や援助機関は同政策を支持している。
- ・（組織面）NFE 政策の実施を促進するための各種フォーラムやワーキンググループも公式に設置されてきた。また、プロジェクト開始以降、対象 2 州の C/P 機関の人員が増員されるとともに、これまで人材配置がなされなかった県へも人員が配置され、組織・人材面は各段に進展した。
- ・（財政面）C/P 機関においては、NFE 実施のための州予算の増加傾向が確認されている。さらに、データに基づいたプロジェクト提案の説得性や、NFE に対する認識改善から、今後も NFE 推進に向けた予算の確保が期待できる。
- ・また、援助機関の NFE への関心も高まっていることから、C/P 機関は外部資金調達を開始している。現在、GPE 資金の申請を念頭に、各州で策定されている教育セクター計画の中で、NFE が優先課題に位置づけられる動きがみられるほか、UNICEF の最新の 5 年計画に不就業児童対策が重要な柱の一つとして位置づけられたことに加え、世界銀行や EU、DFID など、NFE 分野への参入が見込まれている。
- ・（技術面）人材能力面については、OJT を通じた C/P 機関職員の能力強化がなされた。加えて、関係機関に対する NFEMIS の利活用や学習パッケージの利用方法などの研修を実施している。さらに、マスタートレーナーの育成を通じた、教員の継続的育成体制が整ってきている。

3-3 効果発現に貢献した要因

【計画内容に関すること】

- ・本プロジェクトは、連邦政府及び州政府レベルの NFE 政策策定支援から、コミュニティレベルの NFE 実施現場まで、包括的に NFE 推進を支援する内容となっている。また、成果が相互に作用しあうよう構成され、相乗効果を生み出してきた。
- ・本プロジェクトは先行プロジェクトの成果物や教訓の活用を通じた効率的なプロジェクト実施が可能になるように計画された。先行プロジェクトに携わってきた日本人専門家、ローカル専門家の知見が活かされ、効率的、効果的にプロジェクト活動が実施された。

- ・本プロジェクトは、複数の州を対象とした案件構造となっていることから、情報共有の機会を創出し、互いの教訓からの学び合いにより、活動が促進された。

【実施プロセスに関すること】

- ・同国 NFE 分野への長年の支援の結果として、有能なローカル専門家が育っている。また、各州にローカル専門家を配置し、C/P と密にコミュニケーションをとり、活動を円滑に進めてきた。さらに、プロジェクトチーム内の SNS など活用した円滑で迅速なコミュニケーションは、チームワークを可能にし、遅延なく活動を推進することに貢献している。
- ・プロジェクト運営においては、各成果について四半期ごとの目標を設定し、専門家チーム内でこれを共有したことで、明確な役割分担と目標達成に向けた活動ができたことと推察される。
- ・専門家チームは、政策やアドボカシーに係る協議において、常にデータ（根拠）に基づいた助言を行い、その重要性を訴え続けてきた。根拠の提示は説得力を高め、C/P の意思決定を促進し、活動の円滑な実施につながった。
- ・NFE に関する関係者会議等を通じて、政策策定の段階から多様な関連機関と協力関係を築いてきたことにより、政策の実現に向けた協働体制が作られ、それぞれの得意分野を活かした業務分担を可能にした。その結果、情報・認識共有のみならず、本プロジェクトでの費用負担が困難な場合は他機関とコストシェアするなどの役割分担・相互補完を行い、活動を進めてきた。
- ・プロジェクトはさまざまな教育・NFE 分野の会合やイベントに参加することで、NFE に対する認識を高めてきた。積極的なアドボカシーは成果の発現に貢献している。

3-4 効果発現を阻害した要因

- ・C/P 機関高官レベルの頻繁な人事異動は、円滑な実施や持続性の確保を困難にする可能性があった。
- ・治安上の問題から、バロチスタンへの渡航が 2018 年後半から禁止となった。ローカル専門家の渡航は可能であったことから、渡航制限による実質的な影響は限られるが、日本人のプレゼンスが他州より劣ったことは否めない。
- ・2018 年 8 月に政権が交代したことから、連邦政府における教育政策策定プロセスが一時的に中断している。国の教育政策策定は NFE 推進の原動力と成り得る効力をもつものであり、再開に期待する。

3-5 結 論

プロジェクトは卓越した成果を得つつ、終了に向かっている。本プロジェクトの成果は個別に達成されたのではない。各成果の達成の過程で、関係者が相互に省察し化学反応が引き起こされるよう、注意深い配慮の下でプロジェクトは運営されてきた。こうした過程を経て、幅広い NFE、成人識字関係者が集い、学び合い、実用的な NFE の方策を協創していく、ある種の「場」が各地に形成された。

対象地域の C/P 機関も多大な資源（時間、資金、人材）を投じ、NFE の強化に取り組んできたことも特筆される。NFE 政策の策定や、不就学児童問題解決に向けた積極性、率先性は C/P 機関のコミットメントと当事者意識の表れである。

またプロジェクトの成果は、対象3地域のみならず KP 州にも波及した。全国ほぼすべての州において NFBE、成人識字推進への機運が隆盛しつつある。

本プロジェクトを通じて各地にて開発された NFE 学習パッケージ（学習者や教員のニーズが配慮されている）は、学校教育カリキュラムとの同等性と初等教育終了の認証制度が担保されている。ただカリキュラム上、同等なだけではなく、試行を通じた検証により実際の学習到達度においても学校教育の効果と同等か、場合によっては凌駕する可能性もあるという、NFE の有用性が示唆された。その結果、「NFE は学校教育と同等の『第一の選択肢』である」との認識が関係者に広まり、NFE の信頼性、訴求力は大幅に向上した。左記は、教育開発における NFE の再評価を惹起する可能性を秘めており、国際的な観点からも本プロジェクトは注目に値する。

3-6 提言

本プロジェクトは C/P と専門家チーム、フォーラムやワーキンググループに集う関係者の協力が奏功し、卓越した成果を収めてきた。終了時評価時点にて進行中の諸活動には妥当性が認められ、プロジェクト目標の達成に照らして顕著な遅れや欠落はみられなかった。現在までのプロジェクトの取り組みやインタビュー中の関係者による言及には、今後の NFBE や成人識字の進展を方向づける重要な事項が含まれている。これら観点から本調査団は下記を提言し、C/P や専門家チームと協議のうえ M/M に記した。

(1) 国レベルの NFE 政策枠組みを策定する（連邦政府）

連邦教育・研修省が取り組む、国家 NFE 政策フレームワークの策定を引き続き推進する。各州で策定された NFE 政策を起点に連邦レベルの政策フレームワークをボトムアップで構成する試みは、統制ではなく協働を基調とした連邦制度下にあるパキスタンの新たな教育行政のありようを提示する画期と成り得る。

(2) NFEMIS 機能強化と NEMIS との統合（対象3地域）

データを活用した運営管理のための NFEMIS の機能性を確保すると同時に、システムの維持管理に関してその具体的な方法や体制を明らかにすることが求められる。また、システムの維持管理のみならず、NFEMIS の利活用やデータに基づく NFE 事業運営に係る人材育成が重要となる。近い将来に予見される NFEMIS-NEMIS/州 EMIS 統合に向けた準備的検討の必要がある。

(3) 現在進行中の活動の完遂（対象3地域）

NFE 学習パッケージの改訂作業や、教員マネジメント・フレームワークの策定などが現在進行している。プロジェクト完了までにこれを完成させることが求められる。

(4) 活発な NFE フォーラム維持のための方策の検討（対象3地域）

NFE 当局は NFE フォーラム等を維持する中核的な機能を担う。NFE 当局のリーダーシップの下、プロジェクト終了後も活発なフォーラム運営を保つ具体的な方策の検討が求められる。

【プロジェクト期間にかかわらない提言】

(1) 「学校教育¹³と同等の第一の選択肢としての NFE」を推進する（対象 3 地域）

NFE は学校に行けない場合の次善的な選択肢だという見方から離れ、「NFE は学校と同等の第一の選択肢である」という見方に移行する好機が到来している。すべての不就学児童を学校教育で受け入れることは財政的観点からも困難であるが、NFE とともに施策展開すれば、不就学児童への教育機会の提供は加速できる。したがって、NFE 提供機関や学校教育に対し、AL を積極的に活用するよう勧奨することが提言される。

(2) 官民連携の活用による NFE の拡大

プロジェクトが構築した基盤を生かし、シンド州の C/P 機関は NFE 提供拡大に向け、その実施枠組みに官民連携の活用を決定した。これは、NFE を提供する市民組織と協働する民間の教育機関と C/P 機関が提携を交わすものである。この枠組みの下では C/P 機関は財政面の支援を行い、民間教育機関は NFE を提供する市民組織が実施する NFE センターの運営管理にあたる。始まったばかりの取り組みではあるが、効率的、効果的な NFE の拡大の観点からは、他州の参考事例と成り得る。

(3) NFE 学習パッケージの上方（中等）への拡張

NFE による学習継続へのニーズの高まりに応答し、NFE を中等教育レベル（パッケージ D と E、職業機会や生活改善に直結する機能識字等）に拡張する動きがある。NFE 当局は中等教育レベルへの NFE の拡張を通じ、NFBE 修了者が高等教育（大学）機会や就業機会に接続できる仕組みを構築すべく、左記拡張の動きを促進させるべきである。学校教育と同等の第一の選択肢としての NFE という考え方に照らしても、また学習者のニーズに応答する観点からも、NFE の上方への拡張は不可欠である旨付記する。

(4) NFE 当局及びプロジェクトの継続的な能力強化（対象 3 地域）¹⁴

対象 2 州の NFE 当局が計画・申請した NFE 事業が承認され、予算化された。本プロジェクトではパイロット事業とそれを通じた実証に注力し、そのための組織能力強化を行ってきたが、予算を獲得し、実施段階となった現在、質の高い NFE を提供できる組織能力向上・人材の拡充は必須である。特に次の領域における組織強化、人材拡充が不可欠である。

- ・ 教員採用と育成、マスタートレーナーの育成
- ・ NFE 提供機関や教員へのモニタリングと支援
- ・ NFE 提供機関の認証
- ・ 良質の学習パッケージの継続的な開発と改訂、等

13 パキスタン関係者の間では、NFE に対置して Formal Education (FE) が学校教育を指し示す用語として定着しており、本報告書は便宜上左記の用語用法に従う。国によっては NFE と学校教育の両者を含む概念として FE という用語を充てるケースがある点に留意が必要である。

14 すでに関係者間にその重要性が深く認識されているため、M/M の文言表現は間接的ではあるが、各州の独自予算による NFE センター、成人識字センターの設置事業の着実な進展も引き続き注視が必要である。2019 年以降、シンド州、バロチスタン州は千単位でのセンター設置事業に着手するが、両州にとって本格的な施策は初めての取り組みである。州当局による NFE、成人識字の中期的な取り組みの実施可能性を示す試金石となる意味で、州事業の展開は非常に重要である。当面は、予算化された州事業の実施に照らした組織・人材の拡充が喫緊となるが、2,200 万人と推計される不就学児童数に照応すると、更なる州事業の拡大の必要性も想定される。中期的にはこうした大局観に基づいた州事業構想とこれに呼応した組織・人材の不断の拡充が必要である。

(5) 学習到達度や修了率の改善に向けた戦略的研究（対象3地域）

学習パッケージが開発され、良質な教育を提供する土台は整ったが、長期的に質を確保し続けるためには、研究・開発の推進も求められる。これまでのパイロット事業の実証より、NFEも学校教育と同等の学習到達度を担保し得る旨示唆されているが、今後も引き続き実証データを蓄積し、NFEの改善に向けたフィードバックが求められる。またNFEセンターにおいても中退問題は深刻であり、その縮減はNFEの信頼性の向上にとって重要である。学習到達度と修了率の更なる向上は、NFEの魅力をもっと高めるにあたり検討を欠かせない重要事項である。

(6) 機能識字の拡大に向けた他分野との協働促進（対象3地域）

若者や成人が学習する際、日常生活や仕事に関係づけた学びは、効率的な識字能力習得を可能にする。例えば「保健」など生活に必要とされるライフスキルの習得は、識字教育と相性の良い領域と考えられる。また、「職場環境に密接した識字」は、学習者、雇用主の双方に利益をもたらす。今後も引き続き教育以外の分野の行政機関や、民間企業を含む関係者との協働可能性を広げる取り組みを行うことが有益であろう。

(7) NFEの世界的動向に関する基礎情報の収集（JICA）

本プロジェクトを通じパキスタンでは、ALアプローチによるNFBEは学校教育と同等の学習到達度を学習者にもたらす可能性が示唆された。教育の質の担保についてはパキスタンにとどまらない地球規模の課題であり、不就学と退学問題解決のために斬新な方策が常に求められている。こうした観点からも教育全体の中で、速習教育（Accelerated Education：AE）を含むNFEの役割は再評価に値する。AE、スキルと結びついた識字、ひいては生涯学習等に焦点を当てたNFEの有効性、成果や教訓について世界的な趨勢を把握する調査の実施が提言される。

(8) NFE支援の他国展開（JICA）

上記「NFEは、学校教育と同等の第一の選択肢」との認識に立ち、国際教育協力を展開することをJICAに対して提言する。識字率、不就学率の高い国、NFEに関する課題別研修に研修員を派遣する国ではNFE拡充の需要が高いと思われる。他国展開が実現した暁には、パキスタンは豊富な現在進行形の諸実践を提示できる。

3-7 教訓

(1) 包括的なアプローチ：関係者の連帯とコミットを引き出すことで、質の高いNFEの提供機会を加速させるとともに拡大させた。

プロジェクトは垂直・水平方向それぞれに包括的、包摂的なアプローチをとってきた。垂直的には、プロジェクトは州などの上位行政機関による政策策定から、コミュニティレベルのNFE現場実践までを一つの連続的な支援対象に収めている。各領域での取り組みでは、プロジェクト開始直後から広範・多様な関係者（カリキュラム・教員養成など教育部局内における専門部局、NFE提供機関、国際機関、他セクター、民間企業等）との水平的な連携に重点が置かれてきた。こうした垂直・水平両方向の包摂性、包括性が、関係者間の目的意識の共通化、役割分担の明確化に貢献し、協働を通じて良質なNFEを提供する「システム」が構築された。

(2) 長期の NFE 分野への支援を通して得た知見とネットワークの蓄積による、プロジェクトの成果達成を加速・増幅

本プロジェクトは、NFE、成人識字に関する深い理解と知見、関係者・機関のネットワーク、及び一定の信頼性を基に、2015 年に開始され、活動は急速に進展し、最終的には想定される。過去 15 年にわたる NFE 領域における両国の協力の賜物である。関係者との協力、協働が促進され、さまざまな経路を通じた NFE や AL の実施促進が実現した結果、本プロジェクトは 4 年という短期で多くの成果を残すことができた。

(3) 第一の選択肢としての、NFE の潜在性

SDGs の目標 4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」を達成するにあたり、学校教育に比較すると NFE の有効性、有用性は過小評価されてきたといえる。NFE は学校教育に次ぐ次善の策ではなく、学校教育と同等の第一の選択肢たり得るという点は、本プロジェクトがもたらした意義深い教訓である。NFE は、従来の弱者保護的な性格のみならず、学習者にとって継続的に高等教育や、就業機会に結び付くメリットが重視されるに至っている。

プロジェクトが整備支援してきた NFE は、学校教育カリキュラムとの同等性が認証されている。いくつかの実証研究によれば、AL による NFE は学習到達度においても従来型の NFE を凌駕し、学校教育と同等（一部教科では凌駕する）であると示唆されつつある。SDGs 達成における NFE が果たせる役割の大きさは、パキスタンのみならずグローバルな文脈においても見直されるに値する。

Summary of Terminal Evaluation

1. Outline of the Project	
Country : Islamic Republic of Pakistan	Project Title: Advancing Quality Alternative Learning Project
Issue/Sector: Education	Cooperation Scheme: Technical Cooperation
Division in charge: JICA Human Development Department	Budget Expense to Date: 502 million Japanese Yen
Period of Cooperation (R/D)	From September 2015 to October 2019 (Extended until March 2020 ¹) (4 years and 7 months)
	Partner Country's Implementing Organization: Ministry of Federal Education and Professional Training (MFEPT) School Education and Literacy Department, Sindh (SELD) Social Welfare, Special Education, Non-formal, Literacy and Human Rights Department, Balochistan (SWD) Literacy and Non-Formal Basic Education Department, Punjab (LNFBED)
Japanese Cooperation Organization : N/A	
<p>1-1. Background of the Project</p> <p>The literacy rate of the Islamic Republic of Pakistan (hereinafter “Pakistan”) reaches only at 58% and that of women is even lower at 44%², which means that there is a significant gender disparity. Pakistan accommodates 22.8 million³ out-of-school children (OOSC) which is the second largest number in the world. While more than 74% of OOSC are between 10 and 16 years old, the official school age for primary education in Pakistan is from 5 to 9 years and consequently, most of the formal schools do not admit overage children and youth who missed educational opportunities.</p> <p>Factors that hinders provision of education in Pakistan includes geographical ones such as distance between school and home, household ones such as livelihood and values on education, and educational ones such as contents of education and teachers' competency to manage classrooms. The first two factors were found extremely difficult to improve with formal education approach alone. Non-Formal Education (NFE), due to its flexibility and needs-based approach, can play vital roles to respond to the challenging two factors.</p> <p>The National Education Implementation Plan (2013-2016) of Pakistan developed by MFEPT in 2013 stipulated its plan to expand NFE delivery as well as formal education. Provincial Education Sector Plan of Punjab (2013), Sindh (2014) and Balochistan (2013) place importance on improvement of access and quality of NFE.</p> <p>JICA has supported the NFE sector in Pakistan since 1997 to enhance NFE system and to ensure the recognition and verification of learning in NFE pathways. The Project, Advancing Quality Alternative Learning Project (AQAL), has started as a technical cooperation in September 2015 targeting Federal government/ federal area, Balochistan, Punjab⁴ and Sindh aiming to strengthen NFE system, which contributes to improve access and quality of NFE.</p> <p>The Terminal Evaluation was conducted to confirm the achievement to date, and to produce feasible</p>	

1 Minutes of Meeting (M/M) on the revised R/D for the extension of the Project was signed at around the same time as the reporting terminal evaluation.

2 UNESCO UIS (2018). R/D document states the literacy rate at 60% referring to the Pakistan Social and Living Standards Measurement Survey 2014-15, Pakistan Bureau of Statistics (PBS)

3 Pakistan Education Statistics 2016-2017

4 The project implementation has been under discussion with Punjab, which came to a mutual agreement in August 2019. It was for this reason the Punjab component of AQAL project was considered beyond the scope of project terminal evaluation.

recommendations so as to ensure effective and efficient project activities during the remaining period.

1-2. Outline of the Project

(1) Overall Goal

Access and quality of NFE improved through alternative learning paths in federal area, Balochistan, Punjab and Sindh (the Target Areas).

(2) Project Purpose

Non-formal education system is strengthened in the Target Areas.

(3) Outputs

Output 1 : Platform for facilitating NFE is strengthened in the Target Areas.

Output 2 : Data driven management* for NFE is institutionalized in the Target Areas.

*Cycle of data collecting/updating, analyzing, planning, implementing, monitoring and evaluating.

Output 3 : Delivery of Quality NFE is improved in the Target Areas.

(4) Inputs (as of the time of evaluation)

<Japanese Side>

Long-term experts : 2

i) Chief Advisor / NFE (47Man/Month) since September 2015

ii) Project Coordinator /NFE (29Man/Month) since March 2017

Local experts : 15

Study visit to Japan and third countries : Twice

i) Japan and Thailand: From 20 January to 4 February 2017

ii) Indonesia : From 10 to 16 March 2019

<Pakistani Side>

Counterpart (C/P) : 8 persons, and other partners

Land/Facilities : Office space for experts (Islamabad, Karachi and Quetta)

Local expense : Provision of data and information including maps and photographs, necessary expense to establish/operate Non-Formal Basic Education (NFBE) and adult literacy centers.

2. Terminal Evaluation Team

Members	Mr. Hiromichi Morishita	Leader	Deputy Director General, and Group Director for Basic Education, Human Development Department, JICA
	Mr. Shinichiro Tanaka	Deputy Leader	Senior Advisor, Education, JICA
	Ms. Miki Morita	Cooperation Planning	Basic Education Team 1, Human Development Department, JICA
	Ms. Hiroko Saito	Evaluation and Analysis	Consultant, Peacebuilding & Reconstruction Group, Koei Research and Consulting Inc.
Period of Evaluation	July 7–August 2 2019		Type of Evaluation : Terminal Evaluation

3. Overview of Evaluation Results

3-1. Project Performance (achievement of outputs and project purpose)

(1) Achievement of Outputs

Output 1 : Platform for facilitating NFE is strengthened in the Target Areas

Output 1 was achieved.

- Platforms to coordinate stakeholders promoting NFE have been built at the three Target Areas (Federal level and in the provinces of Sindh and Balochistan) as well as the implementing bodies including NFE Forums, Coordination Committees, Technical Working Groups, etc. in which Government and Civil Society Organizations (CSOs), various Development Partners (DPs) and academia participate.
- NFE has been placed permanently as one of the agendas of the “Inter Provincial Education Ministers’ Conference (IPEMC)”, and Local Education Groups (LEGs) which did not happen before the Project implementation (See Project Purpose for further detail).
- NFE policies were developed based on a shared vision on NFE with active participation of government’s organizations, DPs and CSOs in the platforms. In addition, necessary documents to materialize the NFE policies have been developed and notified such as NFE policy implementation frameworks, budget plans, NFE quality learning packages⁵ and monitoring system.
- Total 17 policies and related documents were developed and notified. NFE policies, unavailable before the Project implementation, have been developed and notified in Sindh and Balochistan. At the federal level, the National Education Framework was issued in 2018. In addition to the policies, various official notices crucial for their materialization were issued. It can be said that the platform to promote NFE has been reinforced because these official documents assure the implementation of the NFE policies (Indicator 1-2).
- The number of organizations concluding relevant memorandum of understanding (MOU) with NFE authorities, or that of DPs participating in meetings organized within the platforms are increasing (currently total 51 institutions are positive with the NFE policy). Interviews with the key C/Ps from Sindh and Balochistan also positively confirmed the fact that the NFE policy have promoted cooperation among the stakeholders and facilitated the implementation of the NFE activities. (Indicator 1-1).
- Along with the development of the NFE policies and the policy implementation frameworks, C/P organizations, namely SELD and SWD, have strengthened their organizational capacity in view of implementation of the NFE policies: The governmental budgets have increased triple in Sindh and 8.5 times in Balochistan, and human resources have also increased 1.5 times in Sindh and 4 times in Balochistan as compared to the beginning of the Project⁶.

Output 2: Data driven management* for NFE is institutionalized in the Target Areas

Output 2 is likely to be achieved before the completion of the project.⁷

- The Project developed further the NFE Management Information System (NFEMIS) inherited from the previous project and constructed and upgraded a system which can produce reports on the analyzed data useful for making policy decisions. NFEMIS were introduced in the three Target Areas, among which two provinces approved monitoring and evaluation (M&E) mechanism through NFEMIS, in collaboration with Academy of Education Planning and Management (AEPAM) of the federal government, which is the secretariat managing the NFEMIS.
- An NFEMIS Cell was installed in National Commission for Human Development (NCHD) as well as in

5 NFE quality learning packages means a package of standards, curricula, assessment tools, teaching-learning materials, and “facilitator management framework” necessary for providing quality NFE developed by the Project. The Project developed NFBE and adult literacy quality learning packages.

6 Budget increase: Sindh from 24.452 million Pakistan Rupees (PKR) in 2014-2015 to 82.346 million PKR in 2018-2019. Balochistan from 13.3 million PKR in 2014-2015 to 113.17 million PKR in 2018-2019.

Human resource increase: Sindh from 48 in 2015 to 70 in 2019. Balochistan 22 in 2015 and 91 in 2019.

7 Completion of the project is March 2020 (after the extension).

each of the NFE authorities or related agencies at the three Target Areas to take charge of NFEMIS. All the NFEMIS Cells have been prepared with necessary equipment and staff, satisfying the sufficient conditions for operation of NFEMIS.

- At the time of terminal evaluation, a total of 61 NFE implementing organizations have been using the NFEMIS and took part in NFEMIS trainings. About 15,000 NFE centers' basic information has been input in the NFEMIS at the time of evaluation; which is about a half of approx. 30,000 NFE centers registered nationwide⁸. It can be said that the fundamental environment for utilizing the NFE data have been prepared. A total of 13 actions: 4 actions by the federal government, 6 actions in Sindh and 3 actions in Balochistan, have been taken in response to the NFEMIS reports up to July 2019. For example, schooling promotion for OOSC is conducted, based on NFEMIS data analysis, by the Federal Directorate of Education (FDE) which is in charge of the educational administration of Islamabad Capital Territory (ICT). (Indicator 2-1)
- The Project also built a system in which the information is promptly updated by switching it from the desktop version to the web-based one. In addition, a mobile application is being developed.
- Interviewed users of NFEMIS appreciated the usefulness of the system because it became easier for them to examine necessary countermeasures as the system helps them to trace individual learner's situation such as learning achievement and attendance.
- The effectiveness of the NFEMIS as a tool for information management at the national level was also confirmed from the fact that AEPAM have been using the data from the NFEMIS to develop NFE chapters of the Pakistan Education Statistics (annual publication).
- Integration of NFEMIS and the National Education Management Information System (EMIS) is under consideration because it is indispensable to overview the schooling, literacy, learning achievement in the entire education sector. Besides the federal government, in Sindh, too, the integration of provincial NFEMIS and Sindh EMIS is making a good progress.
- A practitioner's guide on the data-driven NFE management is expected to be finalized by December 2019. It is also planned to provide training for the practitioners of the data-driven NFE management at the provincial and district levels before completion of the Project.

Output 3 : Delivery of Quality NFE is improved in the Target Areas

Output 3 is likely to be achieved before the completion of the project.

- The Project has been developing the NFE quality learning packages as well as human resources, which are all crucial for "Quality Alternative Learning". Standards of learning environment and assessment tools were under preparation at the time of evaluation, and they are expected to be completed by the end of the Project.
- The accelerated education adopted by the Project targets mainly children of 8 to 16 years who missed an educational opportunity at their school age. The Project has been consistently emphasizing the importance of the equivalency between NFBE and formal education and tried to ensure it. The Project has developed NFBE quality learning packages⁹, based on the curriculum ensuring the learners to achieve learning objectives equivalent to those for the formal education in a shorter period than in formal school.
- Because the NFBE curricula of Sindh and Balochistan are officially approved by the provincial curriculum authorities and the certifying institutions, a certificate equivalent to the primary level is

⁸ Pakistan Education Statistics 2016-2017

⁹ The Project has developed the NFBE quality learning packages in 3 levels; A, B and C. It is designed to ensure the students' learning attainment to be equivalent to the student learning objectives of the primary level formal education (5th grade) when they complete learning up to the level C.

awarded to those who completed NFBE quality learning packages, when they pass the assessment organized by the assessment authority of the education departments in each province.

- In the federal area, the Accelerated Learning Program Curriculum equivalent to the NFBE is approved by the MFEPT. This process of development and approval was done in collaboration with the National Curriculum Council. The approved Curriculum can be used in the federal area including ICT, as well as in the NFE programs organized by the federal government's NFE providers such as NCHD.
- Moreover, Allama Iqbal Open University (AIOU) cooperated with the Project in developing materials adopting accelerated education approach. These materials can be used under the AIOU programs in any regions in Pakistan and the learners having successfully completed the curricula will be certified equivalently to the primary level certificate by AIOU. These curricula and materials are particularly useful for NFE institutions which do not have their own curricula or materials.
- The Project has been building a system to train teachers by master trainers who were trained in the three Target Areas, in collaboration with AIOU, FDE and NCHD at the federal level and with Provincial Institutes for Teacher Education (PITE) in Sindh and Balochistan.
- The teacher training mechanism including recruiting standards, pre-service and in-service teacher training, monitoring, opportunities to exchange ideas among teachers, is being institutionalized; an official notice has been published in Sindh and is being published shortly in Balochistan.
- Based on above facts, it can be said that the basic system of professional capacity development of NFE teacher have been established.
- According to the Action Research of Agha Khan University Institute of Educational Development (AKU-IED), notable improvement has been observed in teacher's teaching ability, learning environment and children's learning achievement¹⁰ at NFBE intervention schools which utilize the quality learning packages based on the accelerated learning approach comparing to the conventional NFBE schools which use textbooks of formal education (Indicator 3-1).
- According to interviews, teachers and parents of the NFBE intervention schools mentioned that they observed behavioral changes among the children such as "more disciplined", "respecting others more", and "more cooperative" than before the schools started.
- As far as adult literacy is concerned, Sindh and Balochistan provinces developed the adult literacy curriculum containing three elements (namely basic literacy, life skills, and income generation skills) and produced teaching-learning materials accordingly. In Balochistan, adult literacy curriculum and materials were both officially approved and used in literacy classes operated by the SWD. In Sindh, the curriculum and materials were developed and awaiting approval of the government.
- In addition to the ordinary literacy education, trade-specific literacy materials (livestock, agriculture, and masonry) were developed in view of linkage to job afterwards and livelihood improvement. Furthermore, SWD started cooperation with a public health sector organization, People's Primary Health Care Initiative (PPHI), to carry out a pilot activity to organize literacy classes combining health and literacy educations at PPHI's Basic Health Units (BHU) from July 2019.
- The number of NFBE schools and adult literacy centers which have adopted the AQAL's NFE quality learning packages was 1,155 at the time of evaluation. Compared to the beginning of the Project, where there were no centers using the package, a considerable improvement in NFE delivery mechanism was achieved: given that 1,155 schools and centers in the three Target Areas now have experience to provide quality NFE (Indicator 3-2).

¹⁰ The percentage of children who achieved more than 70% of the assessment examination increased from 2.6% (baseline) to 53.9% (end line) at intervention school. On the other hand, that of the children at non-intervention school was from 1.0% (baseline) to 21.0% (end line).

(2) Achievement of Project Purpose (prospect)

The probability of achievement of the Project Purpose is very high.

- All the indicators of the Project Purpose are expected to be achieved during implementation of the Project. Through the Project, by means of the Outputs 1 to 3, a very solid foundation to promote NFE in Pakistan has been constructed. As described above, policy environment and policy implementation mechanism are built as the Output 1; data-driven decision making cycle to promote NFE is established by introducing NFEMIS, which is the Output 2; and the Output 3 includes materialization of NFE quality learning packages and teacher training mechanism, enabling to provide accelerated learning while NFE equivalency to formal education is ensured. Furthermore, in adult literacy, a literacy education for a shorter duration (6 months) has been realized because the learning contents are well arranged in accordance with the learners' interest. Generally, all the Outputs 1 to 3 have been virtually achieved and thus, the probability of achievement of the Project Purpose is very high.
- The Indicator 1 is considered to be achieved because the AQAL's tools are implemented by principal NFE providers (34 institutions with 1,155 NFE centers at the time of evaluation) operating and managing a great number of NFE centers including governmental organizations such as SEF and DPs such as UNICEF and USAID, and CSOs.
- The Indicator 2 is considered to be achieved because after the Project started, NFE has been placed permanently on the agenda of the Inter Provincial Education Ministers' Conference (IPEMC), owing to a vigorous effort of the project experts, and been discussed in the last four meetings since February 2017. That placement is quite important from various viewpoints because it can facilitate mutual learning among provinces and thus promotes activities of all provinces on their own initiatives, which leads to further development and expansion of NFE (Indicator 2).
- In addition, besides IPEMC, various opportunities such as National and Provincial NFE Forums as well as existing LEGs are afforded to assemble all the NFE related administrations, so that NFE promotion mechanism is also strengthened at the practical level.

3-2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance: Very High

- The number of OOSC in Pakistan, 22.8million children aged 5-16, is the second largest in the world, and there is a big gender disparity. There is limited access to the basic education for over-age children under current education regulation, especially girls.
- The Government of Pakistan sets its literacy target in "Vision 2025" and exhibits its commitment for improvement of access and quality of education in "Education 2030". The Project Purpose and the Overall Goal are consistent with the such policies in Pakistan.
- The Project is also consistent with the strategies and the objectives of the Provincial Education Sector Plan of Sindh (2014) and Balochistan (2013), which place importance on promotion of NFE.
- At the time of starting the Project in 2015, there was no consolidated effort observed to promote NFE, or to develop a consolidated NFE system in any of the Target Area. There were several NFE authorities who were in charge of promoting NFE, but the effort was somehow scattered. This may be resulting from general lack of trust in the potentiality of NFE.
- Japan's Country Development Cooperation Policy (2018) stipulates its commitment toward "improving the quality of, and access to education" under its Priority Area "Ensuring human security and improvement of social infrastructure". The Project is included in the educational assistance programs in the Rolling Plan (2018) as one of the Government of Japan's strategies to contribute to the SDG 4 and to "support girls' education and NFE in order to improve the access to and quality of education".

- From JICA's two Position Papers in Education Cooperation (2015) and on SDGs Goal 4 (2016), it is clear that JICA is committed to contribute to solving educational problems by providing NFE opportunities including literacy, life skills and alternative education programs in countries facing such education challenges as a high proportion of OOSC and adult illiteracy, especially in South Asian countries.
- The Project design aims to establish education environment that enable NFE stakeholders to provide quality NFE as a part of the education system. Outputs 1 to 3 cover the necessary ingredients for the promotion of NFE such as establishment of NFE governance system (policies and platforms), establishment of a data-driven management system, and development and approval of NFE quality learning packages and teachers to secure the quality of education. The Project is designed to make synergy among these outputs.

(2) Effectiveness : Very High (Prospect)

- The prospect of achievement of Project Purpose is very high. Output 1 to 3 were well designed to strengthen the NFE system in the three Target Areas.
- The Project focus was on the enhancement of the NFE governance and delivery, who faced challenges in bringing stakeholders such as DPs, universities, research institutes, CSOs, community and private sector on board to promote NFE in the three Target Areas. The Project succeeded to involve various NFE stakeholders to the platform, to ensure the achievement of Project Purpose.
- The Project developed a comprehensive NFE system that assures the equivalency to the formal education and meet the needs of people in Pakistan. Through implementation and the evaluation of the educational attainment, the value and significance of the NFE have started to gain a recognition in the target and even other areas.
- When the Project started, NFE had been underestimated and never considered as one proper component of education system. Stakeholders in the education sector have started to re-assess the NFE as an equally important tool that need to be implemented parallel to the formal education. This appraisal of NFE which put a path for NFE to be one mainstream in the education system is significant.

(3) Efficiency : High

- It was confirmed that all inputs (planned financial and human resources) were used effectively, and in particular, contributed to the achievement of Output 1, 2 and 3. The project experts (Japanese and Pakistani) were highly specialized in the NFE field and were able to provide the C/Ps with the necessary technical advice and support.
- The allocated number of project local experts increased more than the original plan. However, it did not have significant impact on the project cost. Rather, the implementation of project activities was accelerated by those local experts. Local experts were familiar with local circumstances, had a wide network with stakeholders, and faced no language barrier. The allocation of local experts greatly increased the efficiency of the Project.
- The Project utilized the resources (adult literacy curriculum and NFBE tools such as standards, curriculum, teaching and learning materials, and assessment system) that were developed in the previous projects as well as those from other JICA's project (livestock (Sindh), financial literacy (nation-wide)) and other sectors' materials (agriculture and health). That saved cost, time, and human resources significantly compared to development of the materials from scratch.
- NFE implementation with the community's active cooperation made it possible to prevent dropouts and to ensure monitoring NFE centers in areas where it is difficult for NFE officials to visit frequently. The Project has developed community mobilization manual to assure the process of community involvement.

Sindh and Balochistan approved their community mobilization procedures in NFE implementation mechanism. This improved efficiency of the activities.

- It was decided to extend the project period until March 2020, in order to support the federal government to reinforce its NFE implementation arrangement after governmental reformation. The Project will also resume and promote some activities that were postponed due to the reformation. This extension is not arising from to the efficiency of the Project.
- The Project carried out activities for each output simultaneously, utilizing and sharing information and knowledge gained in the other target provinces. This process accelerated the knowledge and experience accumulation among the Project experts and the stakeholders. As a result, this practice has contributed to produce various and enormous results in the four years period.

(4) Impact : Very High

- Impact of this Project is very high, considering that the prospect of the achievement of the overall goal is high, and other unplanned impacts are emerging.
- Indicator 1 : The total number of schools using the accelerated learning program developed is 1,155 schools currently. NFE providers are the government/ semi-governmental agencies, civil society organizations, and DPs. There is an increasing interest among the private sector.
- Indicator 2 : Course of the Package C, the last component of the primary level NFBE material, is currently ongoing. This will produce the first NFBE completers around October 2019. A total of 1,431 learners passed the assessment of the adult literacy course in Balochistan.
- Many DPs have become interested in promotion of NFE having a common understanding about the NFE Policy and the vision. It is expected that the number of international organizations and CSOs to make MOU will increase. When this expectation become materialized, it will certainly be a contributing factor to achieve the overall goal.
- The NFE sub-working group has been established as a sub-group of the National Education Development Partners Group (NEDPG). It organizes regular meetings and collaborative advocacy meetings. It can be said that a seed of the impact which is expected to extend the project results has been planted. With this regard, it is likely to obtain support from the Global Partnership for Education (GPE) and the World Bank.
- Capitalizing on the preliminary work under the Project, the Government of Sindh has made a paradigm shift in the NFE implementation framework by bringing Private-Public Partnership (PPP) node. The Government of Sindh approved the budget of PKR 600 million for a project of 2,000 NFBE schools and 3,000 adult literacy centers using PPP node. Such innovative way of providing NFE entails potentiality of further expansion of NFE services in the future, which in turn increases the number of the NFE graduates in the future.
- NFE related stakeholders in other provinces have been also raising their interest in NFE through provincial interactions. In particular, Khyber Pakhtunkhwa (KP) is working for the development and approval of NFE policy and curriculum (primary and middle education) supported by UNICEF¹¹ with AQAL's technical assistance. This is a good example of future expansion of the project effect to other provinces.
- There has been a growing expectation for further education opportunity after the completion of NFBE. The development of NFE curriculum and materials for lower secondary level has started in the Federal, Sindh, Balochistan and KP provinces. It shows that NFE activities have made a major impact in Pakistan,

11 UNICEF supports KP through “the Project for Enhancement of Non-Formal Education” (Japanese grant assistance to UNICEF)

where the number of secondary schools is extremely insufficient compared to the one of primary school.

- Furthermore, the Project extended its activity even to the collaboration with other sectors during the project implementation period. The Project advocated the importance of literacy not only to the education sector but to agriculture, health, private (work place literacy) and livestock sectors in order to make each specialized organization acknowledge the necessity of literacy for their interventions to be more effective. The Project has developed literacy programs with trade-specific knowledge and application in their own jobs to produce a synergistic effect. These innovations have potential to nurture NFE as lifelong learning opportunity.
- There is a pilot project of literacy-cum-health integrated course conducted at 3 basic health units in Balochistan. It is expected that women who learn literacy while acquiring knowledge of nutrition and basic home-based health management may take better care of her family members and support learning of her children. If this pilot scales up to the provincial or national level, the impact for both education and health sector will be significant.
- Through these collaborations, the Project is expanding its contributing not only to “education” but also to “health”, “decent work”, “poverty alleviation” and “gender” which are stipulated in SDGs.

(5) Sustainability : High (Prospect)

- (Policy/System) The policies mentioned in “Relevance” remain valid, and the governments have launched initiatives for school enrolment of OOSC in 2018; this illustrates that the governments’ commitment to resolve the problems is strong.
- The legitimacy of implementing NFE has been assured through the NFE policy and issuance of notifications on various NFE related issues including establishment of the NFE Forums led by the relevant NFE authorities.
- (Institution) The NFE Forums set thematic task groups, which allows the members to align the activity with the policy and action plans and monitor the progress. In sum, it can be said that the rightful and functional implementation environment is prepared.
- The shortage of human resources at C/Ps and relevant literacy and NFE authorities has been substantially improved compared to the beginning of the Project. Also, the organizational structure has changed, and necessary number of human resources are assigned both at the provincial and district level, which technical positions have rarely been deployed.
- (Finance) It was confirmed that the C/P organizations have been increasing their provincial budget for NFE since the Project started. It is anticipated that the budget will be secured constantly even in future, considering that the project proposals have become more persuasive backed by the data (evidence) and the perception on NFE has been improving.
- C/Ps began raising external funds because of growth of interests in NFE among DPs. Currently, with application for a fund by GPE in mind, NFE is expected to be set as a priority area in the education sector plans in the process of formulating in each province. Support for OOSC is one of the important pillars in the latest five-year plan of UNICEF¹². Other donors such as World Bank, EU and DFID are also likely to start their activities in the NFE sector.
- (Human Resource) Capacity development is a continuous exercise. The Project has developed human resources of the partner organizations by means of on-the-job and off-the-job trainings. Key important issues are: the effort to continue the platform; the ability to input and analyze data from NFEMIS; the ability to identify problems and propose solutions based on the data analysis; and the skills of master

12 Country Programme of Cooperation between the Government of Pakistan and UNICEF (2018-2022)

trainers who develop the teaching skills of teachers continuously. In particular, skills for data driven management among all the NFEMIS users especially district level, and also the capacity of the NFE authorities to secure the financial and human resources, to materialize the policy, and to keep coordinating the platform.

3-3. Promoting Factors

(1) Factors Concerning to Planning

- (Holistic Design) The Project is holistically designed, from policy at federal and provincial level to delivery of education at NFE center in community. Also, the outputs are interlinked to each other. It is assumed that the Project had an effective and strong impellent force to make this happen.
- (Utilization of Results of Former Projects) Cost and time efficiency and effectiveness was brought by utilizing the prior knowledge, existing deliverables, human network, etc. Utilization of expertise and knowledge of the project experts was also effective as their expertise is based on not only Pakistan and Japan but also from other Asian countries. This enabled to come up with creative idea and translated it to down-to-earth design fit to Pakistan context.
- (Inter-provincial Sharing and Synergies) Since the nature of the Project is already multi-provincial, there was naturally a culture of sharing information and learning from the other's good practices and lessons learnt. The Project's strategic plan of operation enabled the interactive learning by sharing the developed products among the provinces.

(2) Factors Concerning to the Implementation Process

- (Utilization of Local Assets) Through a long history of JICA's technical support to the field of NFE in Pakistan, a useful human network had been built even before the start of the Project. In addition, local experts have been assigned as focal officers to the offices in the three Target Areas located at the C/P offices, which enabled close communication between the project experts and the C/Ps. Moreover, smooth and prompt communication including use of SNS within the project team enhanced its cooperative culture. It can be said that such teamwork has greatly contributed to carrying out activities without delay.
- (Periodical Target Setting) The Project has been implemented based on a quarterly target set by the team. This target was shared among the stakeholders and the Project (both C/Ps and the Experts) worked together to meet the target. This enabled the Project to proceed activities toward the clear target, and shared responsibility.
- (Evidence-based Approach) The Project always put importance on evidences to ensure credibility of technical advice, when discussing on policy and advocacy development. This convincing approach assisted the C/Ps' decision-making and led to smooth operation of the activities.
- (Stakeholders Involvement) The Project had built robust cooperative relationships with other stakeholders through NFE Forums and other occasions since the policy development stage. This created a collaborative arrangement among the stakeholders for the implementation of the policies drawing on their respective area of strength. Subsequently, it became possible to share information and common understanding as well as responsibility and cost with the stakeholders. When the Project faced financial difficulties, other DPs covered the cost so that the Project could proceed the activities without delay.
- (Strong Advocacy) The project has been raising awareness on NFE by participating in various education and socio-economic development meetings and events. Active advocacy has contributed to the achievement of the outputs.

3-4. Inhibiting Factors

- Just as any project faces, some daily challenges were met to progress the Project, although there has been no significant factor observed. It can be mentioned that a frequent change at the top-level personnel in the governmental institutions sometimes challenges a smooth transition and keeping the momentum of the on-going project activities.

3-5. Conclusions

- The Project generated a series of significant achievements as stated above, and it is expected to complete its activities successfully.
- The Project outputs have not been generated in isolation; rather the project management intentionally facilitated interaction and chemistry among generation processes of the three outputs. The Project has created a sense of “common spaces” in the respective areas, for a wide range of NFE stakeholders to gather, learn and compete in a proactive and mutual manner, through ideas co-creation for practical NFE solution.
- It is noteworthy that the C/Ps and the other governmental institutions of the Target Areas have invested a lot in the NFE in terms of time, financial and human resources to strengthen the NFE system. The commitment and the ownership toward the NFE system was also exhibited through the process of legitimization of the NFE related policy, policy implementation framework and other initiatives.
- The Project not only contributed to stakeholders in the Targeted Areas, but also spilled over to non-targeted areas (KP), as such momentum to promote NFE has been increased nationwide.
- Furthermore, the Project has catalyzed a shift regarding how NFE is perceived. At the Project’s inception stage, NFE was not considered as a credible option. In contrast, now there is a growing consensus that NFE is an effective mean to provide learning opportunities for OOSC. This is because NFE offers continuity and its equivalency to the formal education equipped with a needs-based and accelerated learning approach. This shift in perception of NFE is a significant achievement and has a very large potential for making impact on education sector, even from the international context.

3-6. Recommendations

[Toward the completion of the Project to consolidate the outputs]

(1) Prepare National NFE Policy Framework (MFEPT)

On-going process by MFEPT is an epoch-making development, which synthesizes a national policy framework based on provincial NFE policies. It shall also present a new policy governance model in federal setting, featuring bottom-up collaboration and mutual support among stakeholders.

(2) Enhance functionality of NFEMIS and integration of NFEMIS with EMIS (Three Target Areas)

In parallel with ensuring the functionality of NFEMIS for data-driven management, concrete measures shall be clarified to maintain system operation. Besides, human resources need to be further enhanced for NFEMIS and data-driven management. It is also recommended to discuss preliminarily how NFEMIS, NEMIS and Provincial EMIS can be integrated to one another.

(3) Complete on-going activities on quality NFE provision (Three Target Areas)

Works on review of NFE Packages, development and approval of teacher management framework, etc. are under way. Completion of on-going activities is indispensable to ensure the Project outputs.

(4) Consider ways to maintain active NFE Forums (Three Target Areas)

Departments in charge of NFE play crucial roles to maintain active NFE Forums established at respective areas. It is recommended to consider ways to continue the Forums with leadership of the department after the Project completion.

[Regardless of toward and beyond the Project completion]

(1) Advocate NFE as the first option, equally to school (Three Target Areas)

It is high time to shift from the conventional perception of NFE as the second-best option for school education to another perception where both NFE and school education are equally the first-best option. It is not financially feasible to reach all OOSC only by formal schooling; with NFE, we can go faster. For this reason, it is recommended to further advocate to use accelerated learning by NFE providers and formal schools.

(2) Expand NFE through PPP

Capitalizing on the preliminary spadework under the Project, the government of Sindh has created a paradigm shift in the NFE implementation framework. Government of Sindh has incorporated privately owned education management organizations in collaboration with community-based organizations to enter into a legal partnership. The management of NFE centers is undertaken jointly by the government (providing funding) and private partners (providing educational management). This PPP mode is only at the starting point and will be a living experience that can be utilized in other areas.

(3) Extend NFE packages upward

There have been already ongoing efforts to extend NFE up to the middle level (Package D¹³ and E, and vocational literacy). As it is an important move to bridge the NFE learners to the tertiary level, it is recommended for the NFE department to expand NFE packages to the tertiary education and the world of work.

(4) Continuous capacity enhancement for the NFE departments and its projects (Three Target Areas)

It is remarkable that every NFE department has managed to materialize the fully fledged NFE provision projects. As the implementation stage is about to come, further enhancement of institutional capacity is vital to provide quality NFE, in particular, but not limited to, the following aspects:

- Teacher recruitment and training, including master trainers
- Monitoring and support to teachers / NFE providers
- Accreditation of the NFE providers
- Development and revision of NFE quality learning packages
-

(5) Strategic planning to improve learning achievement and school completion rate (Three Target Areas)

Now that the foundation to provide quality accelerated education packages is ready, R&D is indispensable to ensure and even to enhance the quality of NFE in a long run. Some empirical studies were already conducted, and their results indicate that NFE was effective to increase student learning. It is recommended for a range of stakeholders to further accumulate empirical studies and to put the lesson learned into practice. Close look at the aspect of dropout and consideration on how to maximize NFE completion rate are critical to maintain the credibility of NFE. Both learning achievement and school completion rate are crucial factors to make NFE more attractive.

¹³ The education system in Pakistan is divided into primary education (1st to 5th grade), lower secondary education (6th to 8th grade), and higher secondary education (9th to 10th grade). While Package A to C covers primary education, Package D and E covers lower secondary education.

(6) Extend collaboration for expansion of functional literacy (adult literacy) (Three Target Areas)

Youths and adults can acquire literacy more easily if learning is related to their daily lives and/or trade specific areas. To match life skills to the needs such as health is one of the suitable methods for collaboration. Further, work-place literacy is promising as it can generate benefits for both learners and employers. It is recommended to communicate with other governmental departments than education and stakeholders (including private companies) to discuss possible collaboration.

(7) Conduct research on global trend of NFE provision (JICA)

The Project has conducted some empirical researches which confirmed that the equivalent level of education attainment is possible if an accelerated education model is used. However, challenges remain globally in the places where children do not have access to quality education. The problems of OOSC and school dropouts should be mitigated with innovative ideas. The role of NFE needs to be revisited including accelerated education in the education sector. To this end, it is recommended to conduct researches on the global experience with focus on the effectiveness of NFE, such as accelerated education, skill-cum-literacy and lifelong learning.

(8) Support NFE in other countries (JICA)

It is recommended for JICA to follow the perception shift as mentioned above and consider about supporting other countries with the idea of NFE as the first-best option equivalent to school. Potential recipient countries can be identified based on their interests in consideration of the statistics on literacy, school dropout and OOSC as well as participation in JICA's knowledge co-creation program on NFE. Once JICA's support in NFE/adult literacy in other countries is materialized, Pakistan could provide its rich practical knowledge with NFE/adult literacy.

3-7. Lessons Learned

(1) Holistic approach makes the stakeholders united and committed, contributing to acceleration and expansion of quality NFE provision

The Project took the holistic approach both vertically and horizontally. Vertically, the Project has implemented upstream policy making down to NFE provision at the community level holistically as one package. To promote this approach, the Project has facilitated collaboration among stakeholders since its early stage. The stakeholders in the NFE sector have been thereby able to share the same goal and purposes, understand their roles to play, to cooperate to one another to build the NFE system. Horizontally, the Project has taken action within and beyond the education sector to make more benefits in other sectors and to provide more effective supports to the beneficiaries.

(2) Long-term commitment generates a greater achievement with accumulated knowledge and network

As the result of the cooperation for more than 15 years between JICA and Pakistan in the NFE sector, the project team was able to start the Project with deep understanding and knowledge on the actual condition of the sector, a wide range of personal/institutional connection and credibility. Such assets enabled the Project to contact its stakeholders and collaborate with them to advocate NFE and accelerated learning through various channels. As the result of the diverse activities, the project has achieved the enormous results only during four years of the implementation period.

(3) NFE's high potentiality as the first option equally to schooling

The potential of NFE as equally valid as school education systems has been underestimated; it could

contribute to achieving the SDG4, “Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all”. Through the Project, there is a shift in the perception of NFE as the second option as an effective method not only to safeguard but also to pull the students up to the education ladder. Some empirical studies have already suggested that NFE (ensured with curriculum equivalency to regular school) can be as effective as school education in terms of student learning achievements. Having stated that, it is necessary to revisit the role of NFE in achieving SDGs not only from Pakistani but also from the global context.